



とつか

2015年6月会報 第248号

- 国際会長(IP) Isaac Palathinkal (インド)
- 2014 主 題 “Talk less, Do more” 「言葉より行動を」
- スローガン “Do it Now” 「今すぐやろう！」
- アジア地域会長(AP) 岡野泰和 (日本・大阪土佐堀)
- ~ 主 題 “Start Future Now” 「未来を始めよう、今すぐに」
- スローガン “One Asia One World” 「ひとつのアジア、世界はひとつ」
- 2015 東日本区理事田中博之「誇りと喜びを持って」 “With Pride and Pleasure”
- 湘南・沖縄部部長 峯尾 舜 「一人は皆のために 皆は一人のために」
- クラブ会長 吉原 訓 「ゆっくり・楽しく 社会に奉仕」
- 主 題 副会長 浦出昭吉 書記 小俣妙子 会計 渡邊 寛
- メネット事業 吉原和子 担当主事 長田光玄



会長ひと言

吉原 訓

一見したところ どこにも異常が認められない若者ですが、親と同じ屋根の下で生活できない人がいます。

かつては一人ずつ地域に散らばって貸家等に住んでいましたが、今では十戸程度のアパートで管理指導者の援けを受けながら グループで住むケースが増えているようです。地方自治体から家賃補助も受けています。家賃補助制度があるのは、彼らがある種の心の病に侵されていると認定されているからです。彼らの多くは“蝶よ 花よ” “可愛い かわいい” で育てられ 18、19歳まで、コブ 一つ作ったことがないような人たちのようです。その子たちが、いったん大学受験に失敗したり 初恋に破れたりしたとき その事を知る家族との関係が壊れてしまい、グループホームで生活をするようになってしまっているのが実態のようです。成長期には、やはり適度な喧嘩、競争、多くの他人との交わりなどが必要なのではないのでしょうか。

水泳 キャンプ 体操 英会話 その他青少年対象の事業に携わるYMCAの活動が いっそう実効ある力を発揮されることを期待するとともに、それを支える私たちも更なる力を注ぐことが大切だと思います。

さあ いよいよ厚木大会です。意義ある楽しい大会を目指し みんなで盛り上げましょう！

◎今月の聖句◎

金銭に執着しない生活をし、今持っているもので満足しなさい。神御自身、「わたしは、決してあなたから離れず、決してあなたを置き去りにほしくない。」と言われました。

—ヘブライ人への手紙 13章7〜8節—

主のおられた昔から 贅沢をしない生き方を勧めておられます。この戒めは古今東西、今に至るも何ら変わりがありません。この聖句を拝読して、電化、デンカと騒ぎ、発展しつつあった昭和30年代の日本復興のムード、後ろを振り返ることなく ただひたすら前だけを見て歩み続けていた当時を思い出しました。今や その反動からくる反省期がやってきているような気がいたします…。

強調月間 評価

類語表の評価の項では、『品評、品定め、採点、値踏み、格付け、点取り、開票、批評』などとあり、また辞典では、『物事の価値を決めること、また その価値』とあります。

思うに、ここで求めている評価とは、一ワイズメンとしてあるいはクラブとして、一年を省みて 果たして価値ある活動が出来たか、その活動がどの程度お役に立ったことだろうか、そして、もし自己採点するとすれば何点くらいになるだろうか、ということではないかと思えます。

皆さん、それぞれに自己採点されてみてはいかがでしょうか…。

5 月在籍者数	5 月出席者数	出席率	ファン	B	F	B	F	CS・TOP・	Y	E	S	ロ	バ
会 員	12	メ ン	11	92%	他	(円)	(g)	A S F	(円)	(円)	(円)	(円)	(円)
メネット	2	メネット	4		前月迄		0	7kg.	0	0	0	0	34,841
		ゲストら	0		当 月		0	0	0	0	0	0	0
計	14	合 計	15		累 計		0	7kg.	0	0	0	0	34,841

☆第1例会報告☆

吉原 訓

日時：5月9日(土) 18:30~20:30

会場：湘南とつかYMCA 1階ホール

出席者：(ゲスト) 関 伸夫さん(同盟)、山中奈子さん(北Y)
星野恵介主事、今野浩太郎職員

(指導) 森脇倫子チーフインストラクター

(メン) 浦出、長田、加藤、川津、小俣、吉原、

(メネット) 加藤、佐藤、杉本 計) 14名

久し振りにホールでの例会、浦出副会長の司会で始まり
ました。開会礼拝に続いて恒例、森脇インストラクターによる
エクササイズ、簡単な道具を使っ
ての腕・脚・首の上下、開閉、
屈伸などの動きが次々と…、
参加者からは歓声ともため息
ともつかない声が漏れ始める
頃には深呼吸となり、笑顔と



拍手のうちに終わりました。賑やかな会食の後は本日のメイン、
『発達障がい理解を』のテーマで、二人のスピーカーから頂
きました。初めに、横浜北YMCA オルタナティブ事業部長の山
中奈子さんから、ビデオを併用しながら、先ず Q&A、発達障
害は ①正しい指導で治る。②子どもは、△‘個別支援クラ
ス’で授業を受けなければならない。△薬で治る、△小さい
頃からの支援で改善する、△遺伝する、△いじめに遭う、△
働くことが苦手である、等々で、コミュニケーションが苦手
で、正直すぎる・衝動性・見通せない・言葉の‘裏’が分から
ない・‘同時に二つ’は苦手・不器用…などの点が挙げられた。



お話の中で意外だったのは、‘大人の
発達障害’についてでした。いわく、
△やるべきことを先延ばしにする、
△約束が守れない、△時間に遅れる、
△人の話が聞けない、△相手の気持

ちを考えずに一方的に話す、△物事の優先順位が分からない、
△後先考えずに行動する、△場の空気が読めない、△キレや
すい、△落ち着きがない、△片づけられない、等々でした。
何か思い当たる節が…と思ったのはあながち筆者ばかりでは
なさそうでした。そして もうひと方、YMCA 同盟からお見え
の国際賛助会事務局長の関伸夫さんからは その支援方につ
いての要請があり、ワズメのネットを通すことも可能なことを
お伝えしました。諸連絡事項の後は 一同 記念写真に収まり、
定刻、拍手のうちに閉会点鐘となりました。



☆第2例会報告☆

渡邊 寛

日時：5月19日(火) 18:30~20:00

場所：湘南とつかYMCA 204号室

出席者：(メン) 吉原、長田、加藤、川津、小俣、土方、
渡辺(慶子)、渡邊(寛)

(メネット) 佐藤、加藤 計) 10名

【報告】

- ① 第1例会 卓話『発達障がい理解を』：(左欄に掲載)
- ② 第18回東日本区大会：5/15メ切り・419名登録
- ③ 湘南とつかYMCA スタッフ・運営委員交流会：(3頁に掲載)
- ④ YMCA から：—
◎5/30・17:00~の横浜YMCA 会員総会に参加願いたい。
◎ネパール災害支援緊急募金活動にご協力願いたい。

【協議・確認事項 ほか】

- ① 6月第1例会の件：6/6-7の区大会に振り替える。
- ② 区大会の件：—
◎役割：受付・案内・館内誘導
◎メネットは、6日8:30 湘南台駅改札口集合
◎首掛け名札持参のこと
◎ロッカーは有るが、原則的に手荷物は各自携行する。

【当面の日程について】

- ① 6/2(火)：第69回YMCA-Y's 協議会
- ② 6/6(土)-7(日)：第18回東日本区大会

☆YMCA 会員総会から☆

浦出 昭吉

5月30日(土)17時から開会礼拝で始まった恒例の
YMCA 会員総会、横浜YMCA が創立130周年事業の一
つとして13年度から進めていた維持会員入会キャン
ペーン、本年3月には目標の1515名を達成し、そうした
ことを中心にこの1年を振り返る総会となりました。

礼拝は、総会準備委員で牧師の相賀先生(つづきクラブ)
の司会で、130年を迎えた横浜YMCA が今日まで歩み続
けて来られたことを神に感謝し、更なる発展に向けての
願いを熱い祈りのうちに終わりました。

なお、2015年度の横浜YMCAの基本聖句は、「求め
なさい。そうすれば、与えられる。探しなさい。そうす
れば、見つかる。門をたたきなさい。そうすれば、開か
れる。」(ルカによる福音書11章9節)となりました。

総会に移り、冒頭、「議長に一任」の声は若木ワズメ
から力強く発声があつて議事に入り、14年度事業及び会
計報告等がスムーズに承認されました。

休憩を挟んで始まった特別プログラム
「東日本大震災支援報告」では、
社会福祉法人いわき福音協会・小島
保育園園長の伊藤美智子氏から大震
災当時の園生である子どもたちの生
き様と園の対応やYMCA 支援への感
謝等がリアルに披露され、場内の拍手を浴びました(写真)。
常議員選出、会員表彰などがあつて無事終了しました。



☆今期活動を評価してみました☆ 吉原 訓

時の経つのは早いもの、もう年度替わりを迎えています。「ゆっくり・楽しく 社会に奉仕」の主題のもと、私たちはゆっくりと確実に歩んで来ました。

最初の例会は、恒例となっている、森脇倫子ウェルネス・インストラクター指導のチェアエクササイズでスタートしました。会員すべて、なるべく体を動かした方が良い人たちです。今期も 毎月エクササイズを続けてきました。

8月の例会は鎌倉クラブと合同で「加藤利榮邸納涼例会」が盛大に行われました。遠く仙台からお越しの清水弘一氏を始め多くのゲスト・ビジターの方々と共に絆を確かめ合う一夜となりました。17回目の夜でした。ご当主にはいつまでもお元気でと全会員が願っています。

9月は峯尾部長の公式訪問とともに、クラブが2008年以來支援を続けている 日本で唯一の童話絵本の点字シート化図書館の創設を目指している UniLeaf 大下利栄子代表を招いての報告会と支援を実施しました(下欄UniLeaf ホームページから)。

10月の第一例会では岡田麻唯主任スタッフと大島宏美リーダーから卓話をいただきました。

6月末から7月初めにかけて、アメリカ・コロラド州のエステスバークで開催の第18回世界YMCA大会に、横浜から参加の6名と共に参加、人種、文化、言語の違いを超えて勇気と知恵と希望を与えられたと語って下さいました。ベテランの主任スタッフはもちろんですが、若いリーダーの語り口が明るく、爽やかで 分かりやすく感激させられました。YMCAに掛け替えのない人材を見つけた思いで 大変嬉しかったです。

11月3日は毎年「YMCA・い〜とつか祭り」が行われています。同日に近くの小学校で行われる「戸塚区民まつり」との相乗作用で、大賑わいとなります。クラブとしては、毎年 会員総出で“のみの市”のお手伝いをしています。今回も売り上げは14万円を超えました。湘南とつかYMCAサポート事業として継続すべきものと心得ます。

この3月には、恒例 鎌倉クラブと合同で「わかめ例会」が、そして4月には吉原宅で「竹の子例会」が開かれています。加藤宅の納涼例会と合わせ、この三つの親睦例会が、近隣を含むワイズメンの心のつながりを深めています。会員増強の目的は達成すること叶わず 来期へ持越し、私が引き続き会長職を務めます。「ゆっくり・楽しく 社会に奉仕」を合言葉に確かな歩みを続けて参ります。(自己採点7点)

☆森の家研修に参加して☆ 加藤 利榮

今や恒例となった横浜クラブの上郷・青少年研修施設「森の家」での1泊2日にわたった研修会、今年は5月22日(金)の15時から翌23日(土)11時まで開催され、昨年同様 天候にも恵まれ 例によって天野会長の車に便乗させていただき 参加しました。

第1日、高田リズ'の司会で始まり 開会セレモニーの後、「合同研修会1」は田口努総主事による「横浜YMCA 公益財団法人化で何が変わったか」のテーマでの卓話と質疑、先だって3月のYYs協議会の折に既に同じテーマで伺っていましたので、今回は更に「会員組織」について、公益財団化により組織を中心とした分野が変わったものの、130年以上にわたるYMCAの目的や働きは一貫して変わらないことは 青年会規則にもあるとおりのことと、目からのうろこの落ちる思いで聞き入ったひと時でした。

夕食と懇親会、日ごろの交わりを一層深めることができました。

第2日、金子リズ'の司会での「合同研修会2」では、松島リズ'から「信仰・偶像・シャルリエド」のテーマでの卓話と質疑、命題の割には聖書やキリスト教について卑近な例を挙げてのお話や『聖霊、神、イエス』の三位一体のお話など、お互いリズ'の気安さから色々質疑がなされ、キリスト教やその信仰について、ある程度の理解を深めることができたひと時でした。

その他、この研修会を部主催にしては…という提案もあり、少人数ながら中味の有る研修会でした。



☆運営委員会とスタッフ交流会☆ 若木 一美

今年度1回目の湘南とつかYMCA運営委員会が5月16日(土)の18時30分から開催されました。

毎年1回目は 会員総会を目前に控えていること、職員さんの異動や新職員さんの紹介を兼ね 関係する施設や市委託事業関係者も交えての交流会が中心に開かれます。

18時30分から前年度の事業・決算概要が示された委員会、多くの市民を対象にさまざまな事業が展開され、それに伴う収支報告、1年間の各種事業に取り組む職員さんのお顔やそのご苦勞ぶりが思い遣られたひと時でした。

19時から40名近い職員さんと6名の運営委員による交流会が始まりました。各部門ごとに自己紹介や事業内容の紹介、先ほどの会議の文字情報から 生出演の顔文字情報(?)により、その内容が確実に伝わってきました。運営委員の自己紹介は、毎年変化がなく坦々と終わりました。

立食式の会場では、初めにネパール献金、そして委員と職員の交わりや同じ施設内でも顔を合わせない職員の交流等、意思の伝達には大きな成果です。

終わりは吉例(?)の加藤委員長の掛詞、なぜか私に喋るなという指示が…、前に聞いたことがあるような?…で笑顔と拍手のうちに終わりました。



ユニオン・オブ・ワイズメン ユニリーフ

ユニオン・オブ・ワイズメン ユニリーフ

SHARE!

ワイズメンズクラブ国際協会が活動報告をしました

Posted on 2014/03/05 by unilife

9月6日、毎年恒例、ワイズメンズクラブ国際協会横浜とつかクラブ様の例会に伺い、1年間の活動報告をさせていただきます。今回は、3月にNHKで放映された際のDVDをご覧いただき、ますます順調に発展していることを嬉しくお知らせしました。

とつかクラブ様と共にご支援くださっている湘南・沖繩部様の部長もお迎えした公式な会合ながら、皆様のお人柄を反映した暖かく穏やかな集い。UniLeafがまだ構想だった段階からご支援いただいていたこと、今年感謝を新たに初めに帰る場でもあります。

本年もご支援ありがとうございました。来年またここで、ますます充実したご報告をさせていただきますように。

～YMCA 便り～

担当主事 長田 光玄

☆今年もとつか運営委員会・スタッフ交流会が☆

2015年5月16日(土) 湘南とつかYMCA 運営委員会・スタッフ交流会が開かれ、6名の運営委員の方々と35名のスタッフが参加して楽しい時間を過ごしました。初めに、運営委員会を4階会議室にて開催し、その後、1階ホールにおいて礼拝、そして交流会と続きました。

131年前に青年たちの祈りから始まった横浜YMCAは、ボランティアの方々に支えられ活動を続けております。

湘南とつかYMCA 運営委員の皆さんもボランティアで、私たちの活動を見守り、様々なご意見を頂いております。

交流会では運営委員の皆さんの紹介、次いで湘南とつかYMCA 各部門のスタッフ紹介と続きました。楽しい時間はあっという間に過ぎて、全体の集合写真を撮るのも忘れてしまいました。多くの皆さんに支えられていることを実感できたひと時でした。因みに運営委員長は加藤利榮さん、委員に吉原訓さん、若木一美さんに加わって頂いております。今後とも湘南とつかYMCAをよろしくお導き頂けますようお願いしております。



副牧師(運営員)から奨励



YMC A 横浜 YMCA
ネパール大地震
緊急支援募金を!

☆6・7月の行事予定 ☆

- >6/2(火) 第69回YMCA-Y's協議会(関内中央YMCA)
- >6/6(土)～7(日) 第18回東日本区大会(厚木市)
- >6/16(火) 第2例会(18:30・湘南とつかYMCA 204号室)
- >6/20(土) 部評議会(10:00・関内中央YMCA 501号室)
- >7/4(土) 第1例会・総会(18:30・湘南とつかYMCA)
- >7/21(火) 第2例会(18:30・湘南とつかYMCA 204号室)

～6月の例会のご案内～

第1例会： 6月6日(土)～7日(日)
第18回東日本区大会(厚木大会)
第1例会は、厚木大会に振り替えます。

第2例会： 16日(火) 18:30～20:00
～湘南とつかYMCA 204号室～
当面の確認事項、その他重要案件について協議しますので、ご出席願います。

～Happy Birthday～
大高 清美さん 6月16日

～お知らせ～

会長

◎ 区大会への参加について

- ① 6月6日(土)の登録受付のお手伝いを頂ける方は、同日8:30までに厚木市文化会館に集合願います。
- ② 服装はクールビズ・スタイルで十分です。(スタッフ用Tシャツの用意あり)
- ③ 女性の皆さんには、ご要望に沿い専用の宿泊ホテルを用意しました(同封パンフレット参照)。
- ④ 名札入れ(首掛け用)をお忘れなく…。
- ⑤ 第1日の会場となる厚木市文化会館までは、本厚木駅・中央改札口から案内係が立ちます。駅からは1キロほどの距離ですが、途中3カ所の信号を考えますと所要時間は20分前後になると思います。
駅前からのタクシーでは、初乗り料金です。

◎ 厚木大会登録者名簿

浦出、長田、加藤(2)、小俣、土方、吉原(2)、渡辺(慶)
佐藤、杉本 計11名・敬称略

◎ ネパール地震災害緊急支援について

4月25日に発生したネパール大地震では、横浜YMCAを始め、全国YMCA日本語学校には約120名のネパール留学生が在籍しており、その家族への安否確認等を行っている最中です。YMCAでは、左のロゴにもありますように、アジア・太平洋YMCA同盟とネパールYMCAを通じ緊急募金を実施中です。

湘南とつかYMCAでも受付中です。

(後記)

いよいよ厚木大会、皆さんで盛り上げましょう。

(TK)



☆今月の歳時記から☆

‘青梅 あおうめ’ と ‘魚筍 やな’

‘あおうめ’、五月から六月にかけ、梅の実は急速に大きくなり、黄熟する前の梅の実は緑々として美しい。子どもの頃、これを取って塩をつけて食べたものでした。カリッと歯を立てると、もうすっぱくて思わず目を閉じてしまいます。つばきで口の中はいっぱいです。梅の実は、青いうちに取って梅干に、また、梅酒を作ったり、砂糖で煮て煮梅にしますね。

青梅を打てばかつちる青葉哉	蕪村
葉がくれにありと思ほゆ実梅かな	虚子
青梅をかむ時牙を感じけり	東洋城

次に‘やな’、川瀬で魚を獲る仕掛けのことで、木や竹を並べて水を一カ所に流し、そこに来る魚を、斜めに張った簀(す)などで獲ります。単に、‘筍’というと夏季を指すことばですが、‘上り筍’は春、‘下り筍’は秋、‘崩れ筍’は冬を指します。筍は主に鮎、鯉、鰻を対象に仕掛けるようです。

筍で獲ったアユを賞味するのは、また格別ですね。

筍見廻って口笛吹くや高嶺晴	虚子
手に足に逆まく水や筍つくる	泊雲
大筍のとどろきに住む山家かな	鶏二 (中)